

これまでまらきり経験のない者でも常備日給別工(成年者)には一圓二十錢女工(成年者)には六つ錢初めから差上げます常備の中でもその人の働きにより一割なり二割なりの精勤歩増が貰へるのでありますから常備でも一日が一割七八十錢にはなる割合です。然し仕事は殆ど全部が受賃仕事になつて居ります。早く仕事を終わるをほるぬによつて違ひはありますが大抵一週間にする受賃仕事に酬れます受賃仕事は存在の通り働きた次第でいくらでも儲ける事が出来ません。勤務時間は八時間ですが時間中には一歩もおしんで一生懸命仕事に精を出してたくさんもうけるようにする事が皆さんの利益でありまた会社の利益であります

兎に角この会社に比べましても吾々シロップは勤務時間の短いのに比較して最もよい工賃を拂つて居るのであります。工賃率は其の人の精勤振によつてトシ／＼上げられるのは無論であります。

よい工賃を支拂ひする外に皆さんの収入を多くする目的で皆勤賞といふ賞與の制度が設けてあります。会社ではなまける人さよくはたらく人さ同じ様に待遇しませぬ、なまける人即ち休む人は賞與が貰へませんよく働く人こそ色々の賞與がもらへるのであります。一箇月中(日曜日祭日等会社からの休日を除いた日)出勤しなかつたものは皆勤賞與を一日分の日給額だけを月末の勘定のときもらへます。二箇月連続して皆勤しますと二分、三箇月及び三箇月以上連続して皆勤した場合には三分の日給額がもらへます。

特別手當

皆勤賞與の外に特別手當といふ制度があります。これも皆勤者に對してお褒美としての手當であります。皆勤者は一箇月の働いた時間に日給額を乗じて出た額の二割を差上げます。たゞは日給額一圓廿錢の人が一箇月二十六日(日曜日を除いた日として)働いたとしますと三十一圓廿錢になりますからその二割で六圓二十四錢になります。ですから日給額一圓廿錢

の者が皆勤しますと工賃や常備率も皆勤賞與より特別手當でいくらになるか一寸例をあげて見まじやう。

| | | | | |
|-------|-------|------|------|-------|
| 第一箇月目 | 三二・二〇 | 二・二〇 | 六・二四 | 三九・六四 |
| 第二箇月目 | 三二・二〇 | 二・二〇 | 六・二四 | 三九・六四 |
| 第三箇月目 | 三二・二〇 | 三・六〇 | 六・二四 | 四一・〇四 |

それで日給額一圓廿錢の割合で入社して皆勤すれば一日常備率で一日一圓四十八錢六厘の割になります。二ヶ月目には一日一圓五十三錢二厘、三ヶ月目には一日一圓五十八錢四厘の割になります。

三箇月皆勤したとしますと賞與だけでも二十五圓以上になります。それから毎月十圓程づつ貰へる割であります。特別手當は月二回にわけてもらへます。

一日一寸休んでこんな澤山な賞與を手に振つては大變ではありませんか。

皆勤優勝部所へ賞與

個人々々に對する皆勤者には色々の方法が講ぜられて居る

事は前にのべた通りであります。が頭腦としての皆勤優勝部所には一箇月間を通じて二番皆勤成績がよかつた名譽を表彰する爲に優勝旗を授けます。但し旗は一箇月の優勝ではもらひきりする事は出来ません。次の月に他の部所がもつこい成績を上げればそちらへ渡さなければなりません。六回優勝した場合には永久にその部所のものになつていつまでも名譽を誇る事が出来ます。各月の優勝部所には特に賞として賣店切符(一圓)と記念寫眞を一人に一部づつ差上げます。この皆勤賞與を貰ふといふ事はまことに名譽な事でありましたがこれがないやうに早引をせぬやうに心がけなくてはなりません。休んだりおくれたり早引する事が自分一人だけの損です。めばよいがその爲に他の多くの人にまでたいへんな迷惑をかけますから人に決して迷惑をかけぬ心懸でつこめるやうにしなければなりません。

清潔優勝部の各員へ賞與

会社の方では、みなさんの工場内に於ける保健衛生といふ

清潔優勝部の各員へ賞與

個人々々に對する皆勤者には色々の方法が講ぜられて居る